

メイプル会計のもっとお伝えしたいこと（その1）

（財務諸表注記編）

財務諸表の注記の計算項目は、日々の仕訳伝票から計算できる機能を備えています。計算の設定方法も簡単です。

1. 注記項目の選択メニュー

注記の各項目を選択して作成を行います。作成作業が完了すると、備忘メモとして「済」表示が行えます。非該当項目は「不要」表示にすれば出力されません。

（1）法人全体用注記メニュー

法人全体用の注記項目を作成します。計算項目も法人全体で計算します。

法人全体用注記メニュー

項目名	作成確認
1. 当年度の前年度に比べた注記	済
2. 重要な会計方針	済
3. 重要な会計方針の変更	済
4. 法人で採用する会計処理制度	済
5. 法人が行内する利用補助等比率（サービス区分）	済
6. 基本財産の増減の内訳及び金額	済
7. 会計基準適用規則414及び415の規定による基本又は関係補助金等特別積立金の取崩し	済
8. 勘定に併しいる減価	済
9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高の計算根拠等上、勘定法で表示している場合は記載不要。）	済
10. 債権類、繰上引当金の当期末残高、債権の当期末残高の計算根拠等上、勘定法で表示している場合は記載不要。）	済
11. 満期手前目的の債権の内訳並びに帳簿価額、特別及び特別増額	済
12. 関連当事者との取引の内訳	済
13. 重要な偶発債務	済
14. 重要な偶発資産	済
15. その他社会福祉法人の健全性及び経済状態等の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするための必要な事項	済

作成作業が完了しているか備忘メモになります。非該当項目は、不要の設定ができます。

（2）各拠点用注記メニュー

各拠点用注記メニューで拠点別に作成します。

各拠点用注記メニュー

項目名	作成確認
1. 重要な会計方針	済
2. 重要な会計方針の変更	済
3. 採用する会計処理制度	不要
4. 拠点が行内する利用補助等比率（サービス区分）	済
5. 基本財産の増減の内訳及び金額	済
6. 会計基準適用規則414及び415の規定による基本又は関係補助金等特別積立金の取崩し	済
7. 勘定に併しいる減価	済
8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高の計算根拠等上、勘定法で表示している場合は記載不要。）	済
9. 債権類、繰上引当金の当期末残高、債権の当期末残高の計算根拠等上、勘定法で表示している場合は記載不要。）	済
10. 満期手前目的の債権の内訳並びに帳簿価額、特別及び特別増額	済
11. 重要な偶発債務	済
12. その他社会福祉法人の健全性及び経済状態等の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするための必要な事項	済

2. 文章による注記項目の画面例 (項目番号 1番~5番 7番 13番~15番)

文章による注記項目は、文章を自由に入力します。初期データとして登録されている項目もあります。

文章による注記項目例 (例 重要な会計方針)

The screenshot shows a window titled '材料諸注記入力' (Material Accounting Note Entry). The main text area contains the following content:

2. 重要な会計方針
 2. 重要な会計方針
 (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 ・満期保有目的の債権類・貸倒準備法(定額法)
 ・上記以外の有価証券で時価のあるもの(決算月の市場価格に基づく時価法)
 (2) 固定資産の減価償却の方法
 ・建物ごとに器具及び備品(定額法)
 ・リース資産
 ・無形固定資産(定額法)
 ・リース取引に係るリース資産
 ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
 ・無形固定資産(定額法)
 ・リース取引に係るリース資産
 ・リース期間を耐用年数とし、時価減額を等とする定額法によっている。
 (3) 引当金の計上基準
 ・貸倒引当金・・・
 ・賞与引当金・・・
 平成24年度注記

At the bottom, there are buttons for '初期化' (Initialize), '登録' (Register), and '終了' (End).

タイトルも編集できます。

文章が自由に入力できます。
初期の文章も入っています。

初期化ボタンで初期文章に戻せます。

3. 伝票などから算出できる項目の画面例 (項目番号 6番 8番~12番)

伝票や備品資産マスターなどから必要情報を抽出して自動で計算します。手入力で作成も行えます。

伝票などから算出できる注記項目例 (例 基本財産の増減の内容及び金額)

The screenshot shows a window titled '材料諸注記入力' (Material Accounting Note Entry). The main text area contains the following content:

6. 基本財産の増減の内容及び金額
 6. 基本財産の増減の内容及び金額
 基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	45,000,000	2,540,000	0	47,540,000
建物	35,240,000	96,400,000	3,604,000	67,996,000
小計	80,240,000	98,940,000	3,604,000	135,526,000
繰上減額器具	2,389,445	2,964,000	1,145,000	3,808,445
合計	82,629,445	91,504,000	4,799,000	139,334,445

At the bottom, there are buttons for '行追加' (Add Row), '更新' (Update), '行削除' (Delete Row), '集計' (Calculate), '初期化' (Initialize), '登録' (Register), and '終了' (End).

The screenshot shows a dialog box titled '基本財産の増減' (Basic Assets Increase/Decrease). It has three radio buttons: '入力' (Input), '科目' (Account), and '小計' (Subtotal). The '入力' radio button is selected. Below the radio buttons, there is a text field for '基本財産の種類' (Basic Asset Type) with '土地' (Land) entered. Below that is a table with four columns: '前期末残高' (Previous Period Ending Balance), '当期増加額' (Current Period Increase), '当期減少額' (Current Period Decrease), and '当期末残高' (Current Period Ending Balance). The values are: 45,000,000, 2,540,000, 0, and 47,540,000. At the bottom, there are buttons for '登録' (Register) and '終了' (End).

入力: 基本財産の名称、金額すべて手入力で設定ができます。
 科目: 基本財産の勘定科目を設定します。仕訳伝票から集計
 できます。
 小計: 小計項目が設定できます。